



大すき汐入

3月号

進む 立ち止まる そして進む 節目のとき

校長 小黒 裕子

2月の横浜の上空は大いそがし。雪を降らせ、歩道橋の階段を凍らせたので、まだまだ春はお預けと計画していたようですが、下旬に入り5月の陽気を運んでくれました。植物にとって、ありがたい雨も降らせました。季節が少しずつ進んでいくとともに、子どもたちは次の学年への準備も進んでいきます。

6年生は、卒業に向けて、式の練習も始まりました。その一人ひとりの姿がとても立派で感心しました。それは、オーラともいうのでしょうか。外見としての姿勢や顔つき、内面から出てくる気持ちの強さが表れていました。晴れ舞台に向けて練習がぐんぐん進むときもあれば、日常生活の中では立ち止まり、心の奥にある不安や緊張も見え隠れするでしょうが、これまで汐入小学校で学んできたことを胸に、協力してまた進んでいってほしいと願っています。

その6年生は、今年度、卒業に当たり、汐入小学校スポーツフェスティバルでソーラン節を演舞したときに羽織る法被のデザインを考えました。自分たちが成長しながら3年間、4・5・6年生で作上げてきたソーラン節の思いを下の学年につなげる気持ち、自分たちを育ててもらった汐入小学校、汐入のまちへの思いをこめて、「汐入」という文字を入れたことを代表の児童たちは話していました。この取組はPTA会費で積み立ててきた周年行事費を使わせていただいたことで、実現しました。また、この3年間、地域の方には快く、自治会で大切にされている法被を貸していただき、誠にありがとうございました。

次年度に向けて、子どもたちの実態に合ったよりよい教育活動となるよう工夫をし、これまでの保護者や地域の皆様のご協力をいただき、教職員の働きがいや働きやすさも考えつつ、準備を進めています。すでにホームページで発出している「汐入小学校いじめ防止基本方針」の改定は実施済みですが、後出のページにも一部紹介している行事や日課表の見直しを行ったり、今後懇談会等で詳しく説明をさせていただく学級編制の一部改変や環境整備を実施したりしていきます。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

結びに、今年度、子どもたちが安心して豊かに過ごせるよう「スマイリーしおいり」を共同につくっていただきましたことに感謝申し上げます。ありがとうございました。